

9 学校プラン 令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 犬塚小学校プラン

《学校の教育目標》

自ら学び 心豊かに たくましく生きる子どもの育成

《本年度 学校の重点目標》 一人一人が個性や能力を生かし、ともに伸びる子どもの育成

～安心・安全な教育活動を土台として～

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、自分の考えを持って学習に参加することができる。【つくる力】

相手の考えを尊重し、互いの考えを取り入れながら協働し、よりより考えを練り上げることができる。【つなぐ力】

めあてを達成する方法を決め、実行し、振り返りながら、あきらめずに挑戦しようとする。【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②UDの視点を取り入れた「犬塚スタンダード」の授業実践を行う。(国語・算数 毎時間)
- ③教育ICTの活用により、交流活動を活発にし、個別最適化された学びで、子どもたち一人も取り残すことなく「学びの保障」を行う。(毎日)【成果指標】「授業で毎日教育ICTを使用している」と答える児童の割合が80%以上
- ④教員のスキルアップ研修の実施と、楽しく学ぶ活動を構成し、ペアで自分の思いや考えを外国語で伝え合う活動を行う。(外国語 毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②行事を見直し、子どもとふれあう時間、学級事務の時間を増やす。(毎学期)
【成果指標】「先生は分かるまで教えてくれる」と答える児童の割合が85%以上

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載



楽しい学校

- ①「くるめアクションプラン」の初期対応を徹底する。(毎日)不登校対策委員会で、ケースに応じた対応策を検討し、全職員で共有する。(月1回)学校生活の状況や悩みを把握する児童・教員の2者面談を行う。(学期1回)【成果指標】不登校数が2人以下、いじめの認知件数が10%増加
- ②児童会、委員会が主体となった「休み時間の安全な過ごし方・廊下の通り方」「けが人数と発生場所、原因」を伝える取組を行う。(月1回)
- ③児童主体で計画・運営する集会を開催し、自分や友達の活動のよさを振り返る活動を行う。(月1回)ペア・グループで考えを話し合い、相互評価する活動を行う。(毎日1回)



【体力向上】

- ①体育の時間のはじめに、持久力を高めるための3分間走や短縄跳びを行う。(毎時間)
- ②犬塚小チャレンジ広場(持久走・短・長縄跳び)「1校1取組」運動
・体力アップシート活用率:目標75%
・スポコン広場登録学級数:目標5学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

犬塚小3つの約束(あいさつ、そうじ、べんきょう)で基本的な学習・生活習慣の徹底を図る。

- ①児童会を中心に「あいさつ運動」をする。(月2回)
- ②「もくもくそうじ」を合言葉に、時間いっぱい掃除をする。(毎日)
- ③小中合同で「家庭学習がんばりカード」を作成し、実施・評価する。(学期1回)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】「人権・同和教育の視点に立った指導のポイント」を活用して、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を行う。
- 【特別支援教育】「困難さのある児童生徒に対する支援の充実のために」を活用し、同学年や特支コーディネーターによる協働的な支援を行う。
- 【キャリア教育】キャリアパスポートを活用して自己の伸びを認め合う。